

保育の広場 11月号

令和7年11月1日
那珂こども園

ウェルビーイング～子どもたちの幸せのために～

幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめての100か月の育ちビジョン）

子どもの成長を社会全体で支えるために、こども家庭庁が策定した「はじめての100か月の育ちビジョン」をご存じですか？

「はじめての100か月の育ちビジョン」は、正式には「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」というもので、こどもの誕生前から幼児期までの成長を支えるための基本的な指針です。このビジョンは、こどもの生涯にわたる身体的・精神的・社会的なウェルビーイング（幸福）の向上を目指しています。



「はじめての100か月の育ちビジョン」とは？

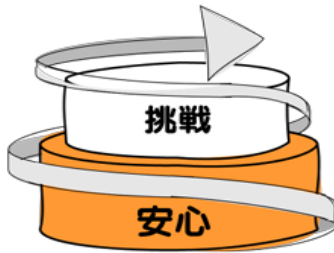
- ✓ こどもの小学校1年生までの重要な時期に、一人一人が健やかに育つことができるよう、みなさんに大切にしてほしい考え方をまとめました。
- ✓ すべての人に「はじめての100か月の育ちビジョン」に共感してもらうことで、社会の考え方を変えていくきっかけをつくるとともに、「羅針盤」が進むべき方向を指し示すように、国や自治体がどのような政策に取り組んでいくべきかを示す役割を果たします。



- 『はじめての100か月*』は、生涯にわたるウェルビーイング（身体・心・環境（社会）の面での幸せ）の向上に繋がっていく、特に大切な時期です。
- この時期に大切にしたい考え方を、5つのビジョンとしてまとめています。

※誕生月によって変動あり。94～106か月⇒概ね100か月。

乳幼児の育ちには、
「安心」と「挑戦」の繰り返しが大切



豊かな遊びと体験



様々な人や自然・絵本などの環境と出会い、興味・関心に
応じた「遊びと体験」をすることで、外の世界へ「挑戦」



アタッチメント（愛着）



こどもが不安なときなどに身近な大人が寄り添うことや、安心感
をもたらす経験を繰り返すことが、「安心」という土台を築く

子どもたちの挑戦をサポートしたい！！

那珂こども園でも、子ども達の体験を全力で取り組めるよう先生方は様々なアンテナを張って取り組みを考えています。

先日行われた運動会も昨年度とは大きく違い、子ども達を選び「したい」「やってみたい」という主体性を考慮して行ったものです。そこまでには、園内研修などを通して様々な意見を出し合いながら取り組んできました。

これからも、子ども達のたくさんの「したい」「やってみたい」といろいろな体験を通して大きく成長してもらいたいと思います。



【参考資料】

『こども家庭庁 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）』

URL…https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo_sodachi